

外国人留学生アンケート集計

2019年11月1日

(2019年11月1日実施：[外国人留学生向け] 早期秋・冬インターン母集団形成フェア)

株式会社ベイングローバル

■概要

2019年11月1日（金）に開催した留学生向け就職イベントにおける参加学生へのアンケート調査の報告。

（イベント名：[外国人留学生向け] 早期秋・冬インターン母集団形成フェア）
記述식을極力少なくし、選択式を採用することで回答の信頼性を保つようにした。

就職フェア参加者数：181名

アンケート回答者数：70名

アンケート回答率：約38%

※回答されたアンケートの中には、一部の設問に関して未記入のものも含む

※未回答があるため、各項目の数値や割合の合計が一致しない場合がある

※専門生や既卒者も含む

※パーセンテージは、回答者数70名を分母とし、小数点以下は切り捨てとする

■アンケートの目的

この時期の学生動向の把握および翌年以降への市場データの蓄積

■質問項目

大学名、国籍、文理、日本語能力資格の取得有無、自身の日本語レベル

Q1 興味のある業界

Q2 企業選びのポイント

Q3 インターンシップ参加予定

Q4 本エントリー状況

Q5 現在の就活フェーズ

Q6 興味のある企業規模

Q7 上記Q6の理由（記述式）

Q8 日本で何年働きたいか

Q9 将来のキャリアイメージ（転職に関して）

Q10 就活で困っていること（記述式）

<回答内訳>

【文理】文系64・理系6

外国人留学生アンケート集計

■回答者属性について

出身国	文系	理系	総計
中国	42	3	45
モンゴル	1		1
カナダ	1		1
ベトナム	9		9
フィリピン	3		3
インドネシア	2	1	3
台湾	1		1
韓国	2	1	3
ブラジル		1	1
香港	1		1
タジキスタン	1		1
	63	6	69

【参加対象者】

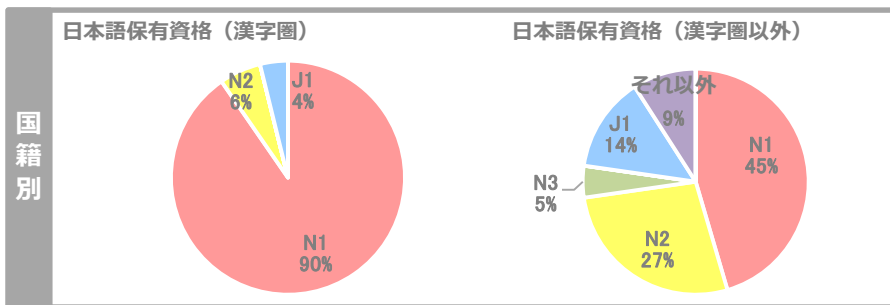
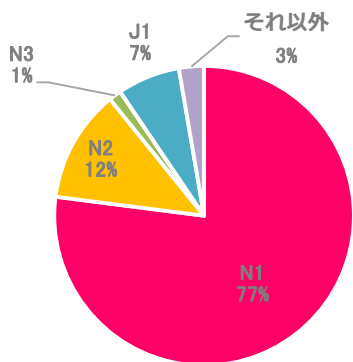
- ・2020年4月～2021年3月に大学・大学院を卒業予定の外国人留学生
(一部既卒者、専門学校・日本語学校在籍者を含む)

■回答者の日本語能力について

	ネイティブレベル			ビジネスレベル			日常会話			カタコト			未記入				
	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計	文系	理系	計		
N1	4	2	6	30	1	31	11	2	13				6	1	7	57	77%
N2				4		4	4		4				1		1	9	12%
N3							1		1						0	1	1%
J1+															0	0	
J1		1	1	3		3							1		1	5	
それ以外															0	0	0%
持っていない 未回答				1		1	1		1						0	2	3%
	4	3	7	38	1	39	17	2	19	0	0	0	8	1	9	74	100%

日本語の保持資格とともに、自身の日本語レベルについて「ネイティブレベル」「ビジネスレベル」「日常会話」「カタコト」の中から自己申告で選択させた。その結果、同じN1保持者でも、自分の言語レベルを「ネイティブ」「ビジネス」「日常会話」と幅広く捉えて申告している。逆に、N2レベルの回答者の約1/2が「ビジネス」を選択しており、自己申告と検定結果に乖離がある。語学力に関してはあくまで参考程度に捉え、イベントや選考で実際に会ってレベル感を確認する必要がある。

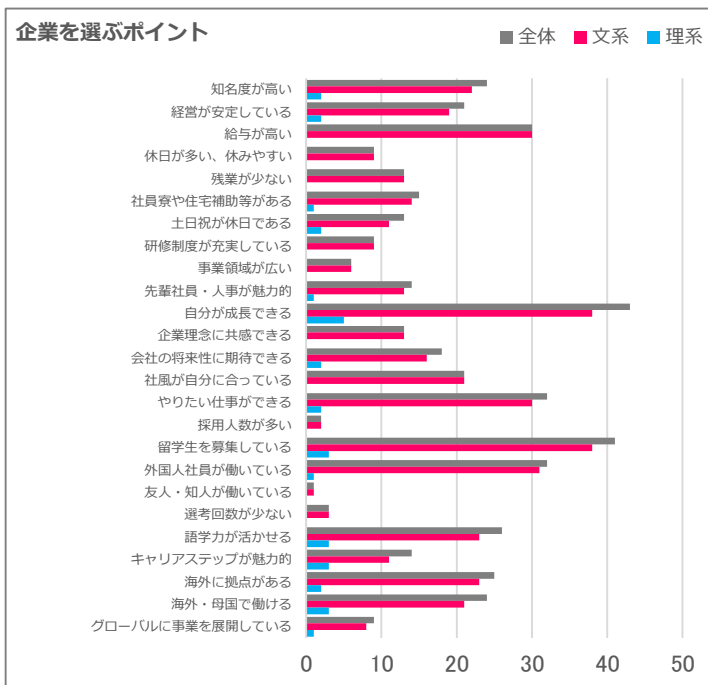
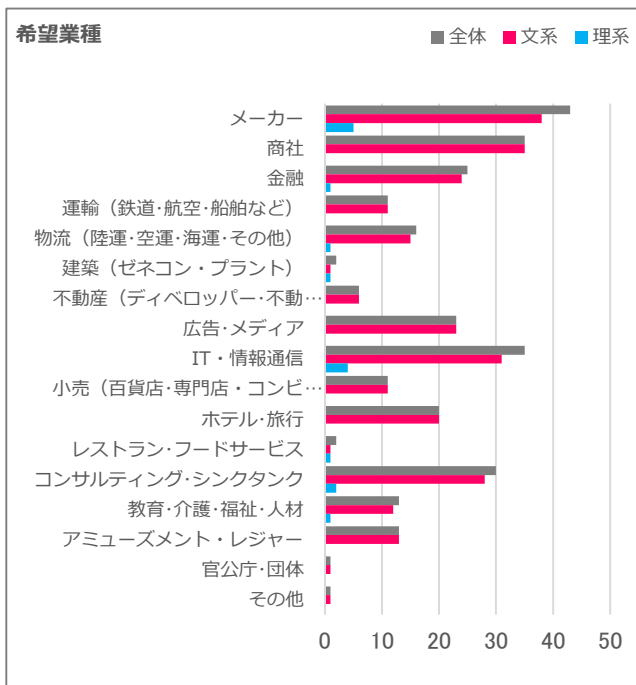
日本語保有資格（全体）



日本語の保持資格を国籍別で比較した。
N1の保持率は漢字圏のほうが高く、漢字圏以外の留学生にとって日本語のハードルの高さが伺える。

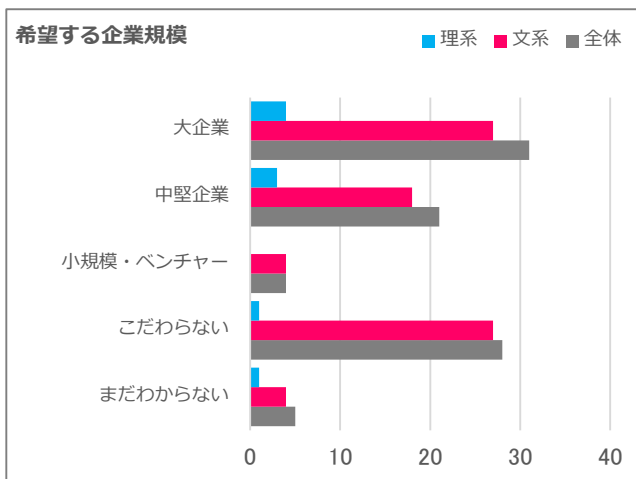
外国人留学生アンケート集計

- Q1. 興味のある業界について、当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)
 ■ Q2. 就職活動で企業を選ぶポイントは何ですか? 当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)



希望業種に関しては、現時点では日本人と大差ない結果といえるが、IT・情報通信分野の人気の高い。企業選びのポイントの項目では、「自己成長」「やりたい仕事ができる」という自己実現軸と並び、「留学生採用の有無」「外国人が活躍できるか」といったグローバル人材活用に関する項目の注目度が高い。企業側は日本人と横並びで考えがちな外国人留学生採用だが、留学生の側から見ると「自分たちがそもそも採用対象となるのか」「外国人としての強みを活かした活躍の場はあるのか」といった、「外国人だから」という採用理由を求めていることがわかる。採用にあたっては、自社での外国人の採用理由をきちんと伝えること、社内で活躍する外国人社員のモデルケースの紹介や彼らのキャリアステップを明示することが必要である。また、初めて外国人の採用を検討している企業では、海外拠点や今後のグローバル展開、任せたい業務内容などを併せて示すことで、入社意欲につながりやすくなるといえる。

- Q6. 興味のある企業規模について、当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)
 ■ Q7. Q6で回答した理由を記入してください。(自由記入)



「大企業」 を選択した理由

- 安定しているから
- 知名度が高い会社を希望しているからです
- 従業員が多く、給与が高いと思う
- 研修制度が充実しているから
- 大企業ほど海外事業が多いという印象を持っているからです
- 新人研修制度の充実と留学生の受入体制ができています
- 外国人社員が働いているので需要があると考えている
- 教育が充実、転職しやすい
- キャリアを長期的に考え、社内外で通用するような人材になれるようにと考えると、大企業のほうが良いと考えております

「中堅企業/小規模・ベンチャー」 を選択した理由

- いろいろな仕事を体験したい

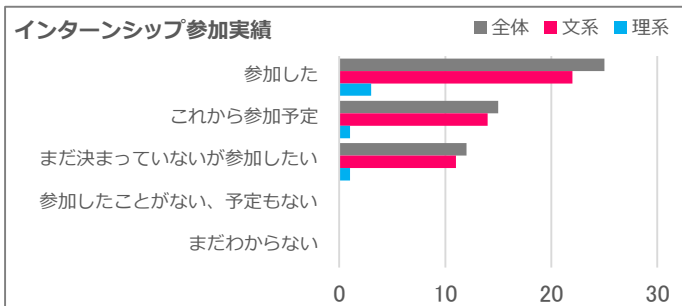
「こだわらない」 を選択した理由

- 入社できる場所ならどこでもオッケーです
- やりたいことがあればどこでも
- 規模に関わらず、社風と合致したり自分が成長できることを大切にしています
- 楽しそうだったと思ったら
- 自分に合っているところなら規模あまりこだわらない
- スキルを身につければどこでも良い
- 企業規模より仕事の内容を見たいから
- 企業規模と給与・補助は直接関係がないと思う
- 知名度よりは休みが大事

企業規模に関しては現時点で評価が分かれた。「大企業」を選択した学生の理由としては、安定や福利厚生などの理由のほか、外国人の活躍できるフィールドを求める声や、長期的なキャリアを考えたときの自身の足場を固める場として捉えていることが伺える理由が挙げられた。大企業以外を選択した学生の回答では、「自己実現」「自分に合うか」を重視する傾向が強い。このことから、中小・ベンチャー企業でも入社後の育成方針を広報活動時から留学生に周知しておく、動機付けのひとつのポイントとなる。

外国人留学生アンケート集計

■Q3. インターンシップに参加した、または参加予定がありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。

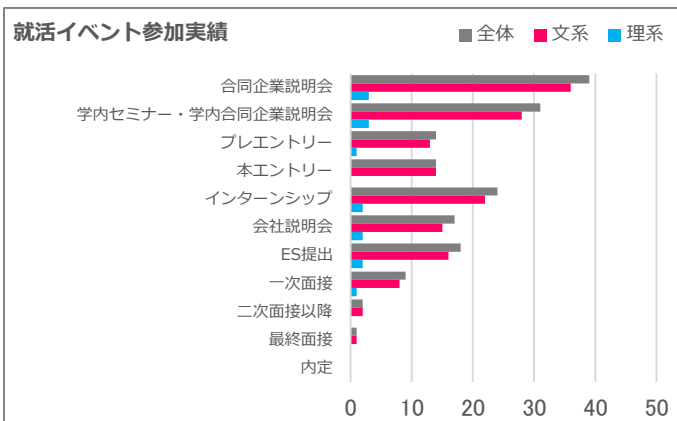
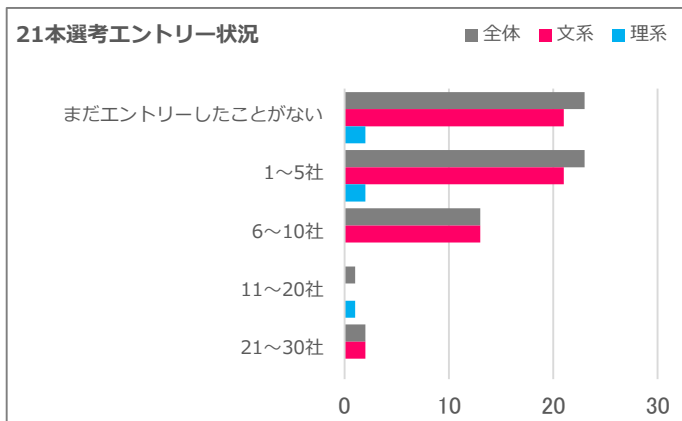


本イベントが、インターンシップの紹介を目的とした就職フェアだったこともあり、現時点でインターンシップ未参加の学生でも、今後すでに予定がある、参加意欲がある、という回答に集中した。

彼らは就職活動を見据えたインターンシップに肯定的であり、早期から就職活動を意識して積極的に活動している層ともいえるため、国籍を問わず優秀人材の確保、外国人優秀人材の確保を目的とする企業はぜひ接触しておくべき母集団と考えられる。

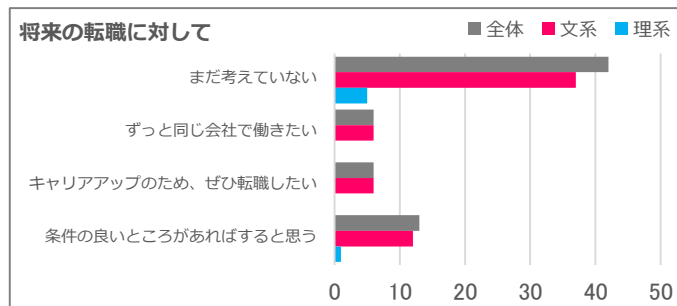
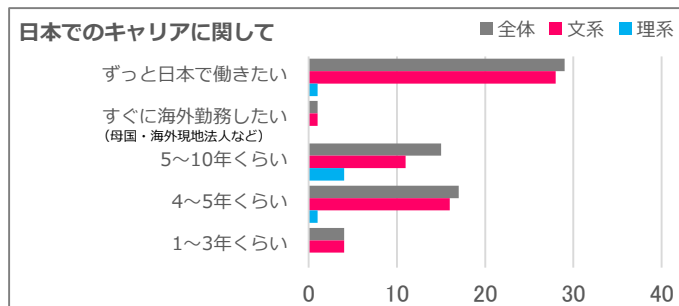
■Q4. 今までに本エントリーした企業はありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。
 ■Q5. 就職活動で参加したことのがあるもの、当てはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

※上記2つの設問は、本項目に回答した学生のうち、2021年卒対象となる学生（2020年4月～2021年3月卒業）のみを集計



11月1日時点では、本エントリーについては未エントリーと5社未満の学生が大半であり、選考フェーズとしても合同企業説明会、学内セミナー等のマス向けイベントの参加が最も多い。これは、今後当社で実施する各イベントで定期観測を行い、集計を行うものとする。

■Q8. 日本で何年働きたいですか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。
 ■Q9. 転職に対する考えはありますか？当てはまるものどれか1つに○をつけてください。



日本でのキャリアに対しては、すぐに海外というよりも基本的に日本で働きたい学生が最も多い。しかしながら将来は母国への帰国を希望する層も一定数いるため、現地拠点での勤務の可能性など、幅広いフィールドでのキャリアが描けるとベストである。

転職に対しては、現時点で「する」「しない」ではなく「まだ考えていない」という回答が最も多いのが特徴的である。

■Q10. 日本で就職活動をするうえで困っていることや、わからないことはありますか？（自由記入）

【語学に関して】

- ・日本語が日本人のレベルに達することができないので困っています
- ・日本語のレベル
- ・日本語の選考や面接

【選考に関して】

- ・webテストに馴染みがなく、心配
- ・グループディスカッションの経験があまりないので困る
- ・SPIが難しい

【企業選び、就活準備】

- ・就活というシステムの巨大さに驚いた
- ・日本で会社文化に合うかどうか心配
- ・自己分析のやりかたがよくわからない、どんな職業を選んだほうがよいか迷っています
- ・自分に合う会社まだみつきりません
- ・その会社で働いている外国人先輩の話を知りたいが、アプローチの手段がありません

就活本番期を迎える前ということもあり、まだそこまで具体的な悩みは生まれていない。

学校のキャリアセンターや就活サポート業者主催の就活対策講座を受け始めている学生が増える中で、WEBテストやSPI、グループディスカッション等に対する漠然とした不安が生まれている。

また、就活本番期前の学生は「コミュニケーション力」と「語学力」を同義に捉えている傾向が強く、日本語レベルさえ上げれば良いと考えがちであるため、早期にその本質に気づかせる必要がある。